

報道関係者各位

会社名 株式会社カプコン
 代表者名 代表取締役社長 辻本春弘
 (コード番号：9697 東証第1部)
 連絡先 広報 IR 室
 電話番号 (06)6920-3623

**2017年3月期第1四半期の連結業績は、前年同期に比べ
 売上高 24.9%減、営業損失の計上により減収減益**

～おおむね計画通りの進捗であり、下期の大型タイトル投入により攻勢を図る～

株式会社カプコンの2017年3月期第1四半期連結業績(2016年4月1日～2016年6月30日)は、売上高109億27百万円(前年同期比24.9%減)となりました。利益面では営業損失7億26百万円(前年同期は営業利益20億26百万円)、経常損失20億80百万円(前年同期は経常利益21億35百万円)、親会社株主に帰属する四半期純損失14億11百万円(前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益15億69百万円)となりました。

当第1四半期は、主力となるデジタルコンテンツ事業において、目玉タイトルを期の後半に集中させるなど下期に重点を置いた事業戦略により、当該期間は小型タイトル中心の商戦となりました。コンシューマ事業では人気シリーズの最新作『逆転裁判 6』が安定した人気に支えられ概ね計画通りに推移したほか、デジタル販売が堅調に収益を下支えしました。

またアミューズメント機器事業では、新規パチスロ機『スーパーストリートファイターIV』を計画通りに販売したものの、前年同期におけるヒット作の反動減により減収減益となりました。

この結果、売上高は109億27百万円、営業損失726百万円となりました。また、期末における急激な円高の進行に伴い為替差損13億35百万円を計上した結果、経常損失は20億80百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失は14億11百万円となりました。

なお、2017年3月期の業績予想につきましては、2016年5月9日決算発表時の業績予想を変更しておりません。

1. 2017年3月期第1四半期 連結業績

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
2017年3月期第1四半期	10,927	△726	△2,080	△1,411
2016年3月期第1四半期	14,541	2,026	2,135	1,569

2. 2017年3月期 連結業績予想

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2017年3月期	85,000	13,600	13,300	9,000	160 06

3. 2017年3月期第1四半期 各事業セグメントの概況

(1) デジタルコンテンツ事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上高	6,294	6,740	7.1%
営業利益	1,107	8	△99.2%
営業利益率	17.6%	0.1%	-

- ① 当事業におきましては、シリーズ作品『逆転裁判6』(ニンテンドー3DSシリーズ用)がコアユーザーに支えられ、おおむね計画どおり推移したほか、バイオハザードの派生タイトル『バイオハザードアンブレラコア』(プレイステーション4、パソコン用)を6月23日に発売いたしました。しかしながら、大型タイトルの投入サイクルが端境期となりましたため小型タイトルが大半を占めたほか、利幅が大きいリピート販売も伸び悩みました。
- ② また、オンラインゲームおよびモバイルコンテンツにつきましては、局面打開に向けた事業展開を行ってまいりました。
- ③ この結果、売上高は67億40百万円(前年同期比7.1%増)、営業利益8百万円(前年同期比99.2%減)となりました。

(2) アミューズメント施設事業

(単位:百万円)

	前第1四半期	当第1四半期	増減率
売上高	1,932	2,157	11.6%
営業利益	35	107	205.9%
営業利益率	1.8%	5.0%	-

- ① 当事業におきまして、風適法(風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律)の改正が今年の6月に施行されたことにより、夜間の入店規制が緩和された環境のもと、各種イベントの開催や快適な店舗運営など、周辺住民に愛される地域密着型の施設展開によりリピーターの確保、中高年齢者や親子連れのファミリー等、幅広い客層の取り込みに努めてまいりました。

- ② また、ビジネスチャンスを開き切るため、キャラクターグッズ等の販売を目的とする新業態の「キャラカブ」を店舗に併設するなど、新機軸事業を推し進めてまいりました。
- ③ 当該期間の出退店はありませんでしたので、施設数は前期末と同じく 34 店舗となっております。
- ④ この結果、売上高は 21 億 57 百万円(前年同期比 11.6%増)、営業利益 1 億 7 百万円(前年同期比 205.9%増)となりました。

(3) アミューズメント機器事業

(単位:百万円)

	前第 1 四半期	当第 1 四半期	増減率
売上高	6,042	1,662	△72.5%
営業利益	1,772	△61	-
営業利益率	29.3%	-	-

- ① パチスロ機部門は、下期からの本格的な攻勢を控え、『スーパーストリートファイターⅣ』を投入したほかは、受託ビジネスに取り組んでまいりました。また、業務用機器部門につきましても、既存商品主体の販売に注力したため、弱含みに展開いたしました。
- ② この結果、売上高は 16 億 62 百万円(前年同期比 72.5%減)、営業損失 61 百万円(前年同期は営業利益 17 億 72 百万円)となりました。

(4) その他事業

(単位:百万円)

	前第 1 四半期	当第 1 四半期	増減率
売上高	272	366	34.5%
営業利益	50	126	152.9%
営業利益率	18.4%	34.4%	-

その他事業につきましては、主なものはゲームガイドブック等の出版やキャラクターグッズなどの物品販売で、売上高は 3 億 66 百万円(前年同期比 34.5%増)、営業利益 1 億 26 百万円(前年同期比 152.9%増)となりました。